

高遠中学校だより『高遠の子』

2023. 6. 6

No. 2

高遠中学校だよりはホームページでもご覧になれます。

<http://www.ina-ngn.ed.jp/~takatyu/>



伊那市立高遠中学校
校長 田中

新年度がスタートしてあっという間の5月でした。4月末からの学校の様子を振り返ってみます。

4/21 生徒総会 令和5年度生徒会活動が全校で本格的にスタートしました。

生徒会スローガン「飛躍～我らの翼で 我らの道を～」

生徒総会ではまず綱嶋生徒会長さんから「みんなで創り上げる生徒会にするために一人ひとりが質問や意見を出して参加してください」と全員参加の生徒会への期待表明がありました。それに呼応するかのようには、手元のファイルから目を離し、しっかりと顔を上げ、質問者に向かって自分の言葉で丁寧に考えを伝えようとする姿が見られ感心しました。初々しさと緊張感の中、最後に本年度のスローガン「飛躍～我らの翼で 我らの道を～」が発表されると全校から大きな拍手がされました。私からは、4月の観桜期ボランティアで得られた出会いや感動のように、マニュアルだけに頼らない自分たちで考え試行錯誤しながら創り上げる「AIを超えていく！」生徒会にしてほしいと伝えました。「飛躍」にむけ、生徒たちがどんな「翼」でどんな「道」を築いていくか、期待しています！



4/24～26 3年生が修学旅行に行ってきました！（少し長く書きます）

天候が心配される中、早朝から元気いっぱいな3年生の姿から修学旅行の1日目が始まりました。私は1組のバスに同乗しましたが、これまで経験してきた修学旅行の雰囲気と明らかに違いました。バスガイドさんを急かすように「朝の会を始めていいですか？」「レクを始めたいと思いますが・・・」等、高遠町文化センターを出発して間もないうちに係生徒からそんな声が上がりました。そして、まだ朝6時台にもかかわらず、クイズ大会などで盛り上がるバス内でした。2組でもそんな姿があったようです。

「そうか、生徒たちはずっとこの時を待っていたんだ！」小学校6年時からコロナ禍となってしまう修学旅行など泊を伴う行事などを経験できないままの3年間を過ごしてきた3年生。早朝から本当にうれしそうに大騒ぎ!?する生徒たちの姿を微笑ましく思うとともに、これまで大人が決定してきた事々を振り返ると、とても複雑な気持ちにもなりました。



1日目は、天候にも恵まれ、ほぼ予定通り、奈良で法隆寺、薬師寺、興福寺国宝館、東大寺大仏殿、奈良公園内を散策し、宿舎である古都の宿むさし野に。さらに夜には、ライトアップされた二月堂まで殆どの生徒が足を運んで1日いっぱい奈良を満喫する姿がありました。奈良公園で鹿と戯れる生徒たちは本当にうれしそうでした！（左写真）

2日目は、曇り空の中出発し京都をめざしました。途中、宇治平等院

では見事な園池に映える鳳凰堂の優美さに見とれ、平等院ミュージアムでは雲中供養菩薩などの国宝級の展示物に時間をかけじっくりと見入る姿がありました。午前 10 時過ぎ、京都の宿 聖護院御殿荘に着く頃には小雨が降り出しましたが、生徒たちは待ちに待った班別自由行動に元気いっぱい出発していきました。予定どおりの行程をまわられた班や予想外のハプニングに見舞われた班等もあったようですが、生徒たちは疲れのある中にも達成感に満ちた表情で宿に戻ってきました。そして到着後すぐに、使ったお金の収支計算を班員全員で行い担任にきちんと報告する姿があり感心しました。

3日目、前夜からいよいよ雨が本降りとなり、昼過ぎには徐々に天候が回復する見込みだったため清水寺の参拝と買い物を午後に変更し、午前はクラス別コースを、昼はリーガロイヤルホテル京都で豪華バイキングを満喫しました。青空が徐々に見えてきた昼過ぎに清水寺に向かう途中、観光バスが大渋滞！添乗員さんの英断で、バスを降りて徒歩で大混雑の清水坂を上っていきました。「観光地もコロナ前に戻ってきた」ことを実感しました。生徒たちはそうした中でも班ごとにまとまって行動し、全員無事に買い物を終え集合場所まで戻ることができました。帰りのバス内はさすがに疲れもあってかぐつすりと思想にふける生徒たちの姿がありました。予定より1時間ほど到着が遅れてしまい暗くなった中、保護者の方々に温かくお迎えいただきました。ありがとうございました。この3日間の経験と感動、そして確かな成長を、今後の生活につなげていってほしいです。



すごい3年生の姿に感動！・・・高遠中 HP「4/26 校長のつぶやき」に掲載

雨の中の三十三間堂だった。バスから降りて傘をさして少し歩き、傘をたたんで入館した。下足を下足棚に入れてから班単位で見学をはじめた。すべての班が動き出した後、私も後を追いかけて見学に行こうとしたとき、ガイドさんが「校長先生、凄いですよ！」と下足箱のところから私を呼んでくださった。下足棚には整然と揃えられた生徒の靴が凜として並んでいた。一足の乱れもなく。ガイドさんが、「いくつもの学校を見てきているけど、何も言われずに自然にこうしたことができるなんて凄いことです。褒めてあげてください。」と。その後、訪れた東寺の金堂入り口のの前では、生徒たちが一人ひとり傘を整然と折りたたんで立てかけていった。冷たい雨の中だったが、心が本当に温かくなった。



5/9 南信地区初任者研修の授業提供校となりました！

本年度新しく教員となった先生方（初任者）が、先輩教師の授業の参観を通して授業づくりを学ぶ機会として、本校の**花村純平先生**に白羽の矢が立ちました。授業は**3年2組**の理科。単元は「化学変化とイオン」の第2章「酸、アルカリとイオン」。



授業の最初に、前時までに学習した酸性の水溶液に共通する性質を全体で復習した後、「その性質のもとなっているものの正体は何だろうか？」との教師の問いかけに、「もしかしたらそれはイオンかも？」との予想を立て、「もしイオンだったらどちらかの電極に引き寄せられるはず」の仮説のもと、生徒たちは実験を通してその正体を探っていきました。実験を始める前に、教卓の前に集まった生徒たちの目は輝き、実験器具を操る花村先生の一挙手一動を真剣

に見つめる姿。いよいよグループになり実験開始。電圧計の両極に挟んだ青色リトマス紙に水溶液を慎重に垂らす姿、すると、朱色に染まりながらじわじわと水溶液が陰極側に広がっていく様子を観察しながら、「あっ、マイナス側に引き付けられていくからプラスのイオンじゃない!？」「でも、ちょっと広がり方が中途半端だ・・・。」「もう一回やってみたいな。」など、グループの仲間同士で気づきや考えを率直に伝えあったり、様子を見にまわってきた花村先生に気軽に質問したりしながら、対話を通して学びを深めていく姿が見られました。

授業後の授業研究会で参観した初任者からは、**生徒たちが落ち着いて授業に取り組む姿やグループで協力して実験を進める姿、タブレットを易々と使いこなす生徒たちの凄さ**等々が出されました。そして、授業中の花村先生の生徒一人ひとりへの温かな言葉がけや細やかな配慮についてや、前夜も遅くまで予備実験を繰り返して授業づくり（教材研究）をしていた姿など、教師として今後大切にしていきたいことがたくさん挙げられました。こうした公開授業は、参観者はもちろんですが、授業をした教師、そして生徒たちが一番成長する機会となります。本校全体の教科等研究につなげていきたいと思えます。

5/10 第2回避難訓練を実施しました。

本校は土砂災害警戒区域に立地しています。2回目の訓練の目的は①基本的な防災知識を学ぶこと、②実際に1次避難場所に避難してみることでした。まず始めに、各教室に Web 配信された映像資料と動画により、土砂災害への備えや避難上の留意点などを係主任の岩田先生の解説のもと学習し、その後、「校舎西側の藤沢川沿いの土砂災害特別警戒区域に指定されている急斜面が崩落し始めた」という状況設定のもと、若宮駐車場へ実際に避難しました。生徒たちも職員も真剣な姿で訓練に臨みました。



最後に私からは「みること」の段階として「見る⇒視る・観る・診る⇒診る」について話し「日ごろ見慣れている通学路を、今日はしっかりみて帰ること」と「そこで気づいたことや考えたことを生活記録に書いてきてほしいこと」をお願いしました。・・・翌日、担任の先生方からたくさんの生徒の言葉が届きました！ **大人が投げかけたことを真剣に考え行動できる生徒たち**

です。だからこそ、私たち教師、大人の姿勢が大事だとつくづく感じさせられました。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

○「見、観、視、診、看」の五つの漢字。普段は目に入ってくるものが見えるだけで意識して何かを見ることはほとんどないように感じます。今日の帰りに少し周りを観察しました。よくみると、木が生えていないところなど、危なそうな箇所がいくつかありました。普段の生活では気づかないところをこういった観察してよくみることは大切だなと思いました。ただ観察してみてもそれは表面のことで本当にそうなのか分からないから、自分たちの住む地域や気候、以前この地域にどんなことが起きたのか、それによってどんな被害があったのかを詳しく調べたりすることも大切かなと感じました。（2年Iさん）

○（前略）本当にあった時のためにしっかり真剣に取り組めました。バス停から自分の家までのところで危険なところはほぼ全部でした。那木沢は坂で囲まれているので避難道お逆に危ないかなと思いました。またしっかりと確認しておきたいです。

（1年Aさん）

4/28に1年生が正式入部して部活動も本格的に始まっています！

1年生も加わり部活動が本格的に動き出しました。運動部では今週末から始まる中体連南信地区大会に向け熱が入ってきました。5月30日に開催された進徳館の日記念第25回少年剣道大会では、**3年の石川奨也さんが個人の部で優勝、団体戦でも本校剣道部が見事優勝**を果たしました。これらの結果も



凄いのですが、感心したのは試合する選手をチームでまとまり応援する姿や、他チームの選手の試合も真剣に観戦して学ぼうとする姿でした。剣道では「**気「剣」「体」の3つが揃わないと一本にはならない**と審判長さんが開会式でお話されていました。まさに試合だけでなく、試合間や、ふだんの練習、さらに言えば日常の生活の姿が、すべて一本（結果）に結びつくのだと剣道部の生徒の姿から教えてもらいました。

どの部活動でも、こんな姿や気持ちが大切にされているはずです。むしろ、部活動をやる意義はそこにあり、今後の人生や生活につながる部活動であってほしいと思っています。お忙しい中、ご指導いただいている外部指導者やお支えいただいている地域の方々、そして保護者の皆さんに感謝しながら、限られた環境の中で、生徒たちには精一杯取り組んでほしいと思います。なお、**女子バスケットボールですが、本年度は東部中学校のご協力により合同部活動として活動**しています。ご承知おきください。

令和5年度PTA活動、学校運営委員会(高遠中コミュニティスクール)が始動！

4月20日にPTA総会が開催され、スローガン「**re-start! 新たな未来へ**」をはじめ各部年間活動計画が承認されました。PTA会長の永井芳則さん、副会長の石川修実さん、宇治田彩子さんをはじめPTA役員の皆様、そして会員の皆様、一年間よろしくお祈いします。総会に引き続き第1回学校運営委員会が行われました。本年度も**委員長を黒河内貴さん、コーディネーターを杉山祐樹さん**にお願いしました。

委員の方々からは、地域で気持ちよい会釈や挨拶をする生徒の姿や新入生が元気に登校できている姿などを教えていただきました。一方、道に広がって歩く姿が時折見られて心配だとの声もいただきました。また、その後の意見交換の中では、「**学校だけで課題を抱えずに、困っていることはぜひ地域に投げかけてください。しっかり協力していきたいです。**」とうれしいご提案もいただきました。今後も地域に開かれた学校づくり、地域と学校が「ともに弱音を出し合い互いに支え合いながら協働して子どもたちの成長に寄与できるよう」取り組んで参りたいと思います。

～お知らせ～

新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へと移行されて1ヶ月となります

- ・引き続き学校では、換気、手洗い等の基本的な感染対策を行っています。ただし、マスクの着用はあくまで個人の判断に委ね一律に求めていません。ご承知いただくとともにご協力をお願いします。
- ・ご家庭でも引き続き、お子さんやご家族の健康状態の把握など基本的な感染対策へのご協力をお願いします。体調不良が見られる場合は早めの休養や受診をお願いいたします。

[新型コロナウイルス感染症の「出席停止」等についての詳細は本校HP「様式」をご覧ください]

6/2の大雨による完全下校の対応時のご協力への感謝とお詫び

6月2日(金)の大雨に際して、被害に遭った地域の皆様にお見舞いを申し上げます。また、急遽メールにてご家庭のお迎えをお願いしたにも拘わらず、迅速にご対応いただいたことに感謝申し上げます。若宮駐車場周辺が渋滞し体育館までお迎えいただくことになるなどご心配・ご迷惑をおかけしました。途中途中で、**地域や保護者の皆様から寄せられた情報や声が対応を判断していく上で本当に重要なものでした**。学校でも今回の対応内容をしっかりと振り返り次に生かして参る所存です。ぜひ、ご家庭でもお子さんとともに緊急時の対応について再度ご確認くださいと思います。また、今回、**気づいた点などぜひ学校までお寄せください**。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- * 1年生宿泊体験の様子や地域とともに学ぶ活動の様子等については次号にて掲載します。
- * 6月23日(金)は授業参観日、給食試食会、親子ふれあい講座となります。ぜひお越しください！